

## 5月臨時会所信表明会

高山市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、正副議長に立候補しようとする者は、議会運営における自らの考え、市民の福祉の増進を図る取り組み、議会の抱える課題の解決に向けた取り組み方針などを全議員に示す所信表明会を行っています。今回、議長候補の倉田博之議員、副議長候補の松山篤夫議員が所信表明を行いました。

この様子はCATV、インターネットで生中継されました。議会では、正副議長候補者が自らの考えを議員に示すだけでなく、中継等を通じて広く市民の皆様に議会に関心を持っていただき、議会活動をご理解いただく機会の一つと考えています。

映像中継から  
所信表明会を  
ご覧いただけます



## 議長抱負

くら た ひろし  
倉田 博之



子どものとき白黒テレビにかじりついて観た東京オリンピック、その閉会式が目に焼き付いて忘れられません。人種も国籍も性別も年齢も、宗教も文化もおそらくは価値観も大きく違う人々が、ついさっきまで競い合っていた者たちと腕を組み、肩を抱き肩車をつくって、心からの笑顔を見せながら混然と入場してきたのです。「平和の祭典」の基盤とは「多様性の理解と尊重」であり、それこそが世界の秩序と安寧を成立させるものだと確信した瞬間でした。

ひるがえって、議会における「多様性の尊重」とは…。

市議会は市政に関しての決定を行います。機関として出す結論は常に一つしかありません。しかしながら、その一つを決定するプロセスにおいて、議会がどれだけ多様な立場の市民意見を反映する努力を積めたのか、どれだけ多様な人々の思いに心を寄せて議論に表現できたのかは、議会の真価が問われる重要な要素です。その帰結点としての決定は全体意思の重心に最も近いものになるはずであり、私たちが長年取り組み続けている議会改革は、その精度を向上させるべく行っている終わりのない挑戦です。

高山市議会は、これまでも議員間の討議を大切にしてきました。その位置づけは、人口が減っても価値観の多様化が進む現代においてはさらに重要度を増すものと捉えています。多様性を反映させるための討議がさらに実のあるものとなるよう、議論の土壌や環境の整備に努めていきたいと考えています。

議会は住民の財産です。決して皆さんの負担ではありません。そのことを理解していただける努力を、私たちはさらに積み重ねていく所存です。

## 副議長抱負

まつ やま あつ お  
松山 篤夫



厚生労働省より示された「新しい生活様式」を定着させながら、市民・事業者の皆様にごできるだけ早く以前の生活、事業活動を取り戻していただくためには様々な施策、取り組みが必要であります。議長をしっかりと補佐してその責任の履行に努めてまいります。新型コロナウイルスによる経済ショックは、雇用などあらゆるものに打撃を与えています。産業や雇用形態、また、性別によって異なり均等ではありませんが、社会的・経済的に弱い立場に置かれている人々には深刻なダメージをもたらしています。

持続可能な景気回復に向かわせるには、家計の不安から落ち込む需要を支え、社会的なセーフティネットを整備し、労働生産性を改善する構造改革が求められます。二元代表制の一翼を担う市議会の役割と責任は一層大きくなっております。また、日本列島は災害が頻発する時代に入り、予測不能なリスクが襲いかかるようになりました。防災が重要な課題になります。減災、防災には、地域社会の底力が問われます。市議会は市民が住んで良かったと実感でき、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを進めていくため、課題解決に向けて、市民の皆様の声に真摯に耳を傾け、一層活発な議会活動を展開していく必要があります。さまざまな課題の解決には、今まで以上に危機感とスピード感を持って取り組んでいかなければなりません。議会と行政が真摯に議論を重ね、市政の推進に力を尽くして、より身近で開かれた議会を目指していく所存です。高山市がさらに魅力的なまちとなるよう積極的に取り組んでまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。